



足立入谷小だより

令和元年7月2日
足立区立足立入谷小学校
校長 添野 誠



高学年は学校の陽光

校長 添野 誠

7月とはいえ、まだ鬱々した日が続きます。しかし学校の中では梅雨明けを思わせる場面があります。その中で一際明るい高学年のお話をご紹介します。

先月は6年生の日光をかわきりにして、5年生の鋸南と、二つの自然教室が続けて行われました。私は引率者として、その時の彼らのすばらしい姿を目にすることができました。

<6年生日光 5日～7日> 宿泊学習は2度目と言うこともあり、基本的な動き方や規律は学習済みです。あとは、鋸南の経験を思い起こしながら、充実した学習を積むことが大切になります。

私の感動は、初日の富弘美術館から起こりました。障害を背負った画家、星野富弘さんの力作が揃う美術館が渡良瀬川沿いにあるのですが、そこでの学習ぶりが実にすばらしかったのです。彼らは、館内を参観しながら絵と共に関連展示されている多くの「詩作」に着目し、感銘を受けた詩を視写します。それを学校に持ち帰り国語の学習をするという宮下先生自作の開発単元が始まりました。これは事前学習が不可欠であると共に、子ども各自が頭と心を働かせて、真剣にしかも注意深く鑑賞する姿勢が問われる高度な学習です。

「途中で飽きたりふざけたりする子はいないだろうか」と若干心配でしたが、まったくの杞憂でした。先程までバスレクで大はしゃぎだったあの子たちが、大まじめに学習に取り組む変わり様は一体何なのか。不思議なくらいすてきでした。

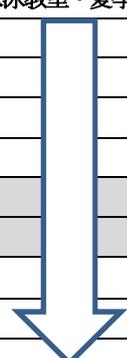
<5年生鋸南 17日～19日> さて、こちらはすべてが初経験。となると、現地学習以上に、望ましい集団生活経験を積ませることが重要になります。そして、これを実行し、自信をつけて帰ることが大目的となります。そこで三村先生は2週間以上をかけて、5分前行動や集合整列、そして開園式や食堂でのマナーと行動様式などについて、みっちり鍛え上げていました。こうしたことは、集団生活を行う上で実に重要な要素なのです。十分に指導しないと現地で子どもたちを叱ることに繋がり、これは避けなければなりません。

これも杞憂でした。1列、2列…9列まで臨機応変、変幻自在に集合整列できる子たちはそうそうおりません。そして、食堂での準備から片付けまでの静粛さや素早さも立派そのものでした。こうして、「鍛え上げて乗り込み、褒めて戻す」という今回の目的は見事に達成しました。5年生は現在、自己肯定感を高めて日々の生活を送っていることと思います。

こうした高学年の姿を、全校朝会で伝えました。4年生以下は、「足立入谷小の校風＝高学年がしっかりしていること」と認めていただけるように心して進んでいきましょう。今後とも、保護者の皆様や地域各位のご支援をお願いいたします。

7月の主な行事予定

日	曜	行 事	スマ	16	火	全校朝会 交通安全教室(1234)	○
1	月	全校朝会 皆泳教室始	○	17	水	B4	×
2	火	OP	○	18	木	音楽朝会 避難訓練	○
3	水	B 委員会	○	19	金	B 夏季休業前集会 大掃除	○
4	木	都調査(5)	○	20	土	夏季休業日始	
5	金	七夕集会 センター教室	○	21	日		
6	土	土曜授業 道徳地区公開講座 防犯会議 開かれ	×	22	月	個人面談 夏季水泳教室・夏季補習	×
7	日			23	火		×
8	月	全校朝会 俳句展始 募金活動(～12日)	○	24	水		×
9	火	仲良し班活動 安全指導・点検 枝豆切り(4)	○	25	木		×
10	水	B4	○	26	金	↓ 俳句展終	×
11	木	中学体験(6) 自転車安全教室(3)	○	27	土		
12	金	児童集会 漢検	○	28	日		
13	土			29	月		×
14	日			30	火	入谷中部活体験(6)	×
15	月	海の日		31	水	入谷中部活体験(6)	×



※()の中の数字や文字は対象学年を示します。×はスマイル未開催日 Sはスクールカウンセラー配置日 OPはオリビッド体験実施日

日光自然教室

6年担当 宮下 千広

「これから、バスレクを始めます!」「いえーい!!」パワフルで元気な三日間は、行きのバスレクから始まりました。日光自然教室で、担任とともに子供たちがこだわってきたことは、**自ら言動を考えること**。3日間の仲間との生活を**自ら厳しくすること**。**自ら盛り上げること**でした。以下に、事後の子供の日記の一部を紹介します。

*滝を3つ見たが、全然種類が違うところがおもしろかった。でも、思ったよりも小さかった。

三日目は、日光東照宮に行った。歴史上の中では家康はあまり好きではないけれど、家族思いでいい人だと思った。

*一日目のレクはとても楽しかったので、二日目のキャンドルセレモニーも司会としておもしろくしたいです。

二日目のキャンドルセレモニーでは、失敗してしまったので少し悔しいです。

*一日目の日光の思い出は、富弘美術館で鑑賞したことです。口を使って素晴らしい絵を描けることがすごいし、内容もよかったです。『自分にしかできないことがあるんだ』ということ学びました。

日光を終えて、これからも、5分前行動を心掛けて、素早く行動できるように頑張っていきたいです。



このように、歴史や火山による土地の変化、自然を守るための取り組みなど、様々な教科を横断した学びを深めました。また、集合・整列を早くすることや、仲良し班活動の経験を活かしてレクの司会を務めることなど、一人一人が様々なことを考え、思いをもって行動することができた、素晴らしい3日間だったと思います。楽しかった仲間との思い出を胸に、より団結力を高めながら、小学校生活最後の一年間をより充実させていきたいと思っています。

鋸南自然教室

5年担当 三村 哲也

あっという間の三日間でした。楽しい三日間でした。

一日目。5年生38人全員が元気に鋸南自然教室出発式にそろいました。出発式では、児童代表が「成長して帰ってきます。」と決意を語りました。マザー牧場、キャンプファイヤー。仲間と共に行動し、笑い、歌い、踊った一日でした。

二日目は磯遊び、あじの開き体験、火起こしをしてじゃがバター作り、ナイトハイクと密度の濃い一日となりました。

三日目は、フェリーに乗り、東京湾を渡って日産追浜工場へ行きました。

児童は初めての宿泊学習で、仲間と協力して生活する経験を通して、仲間の大切さや時間を守り、自分の役割をしっかり果たすことの大切さを学べたようです。

鋸南から帰ってきて一週間ほどたちましたが、クラスの雰囲気が変わってきました。以前よりも時間を守れるようになったり、自分から考えて動けるようになったり、仲間に優しくなったりしています。これからの児童の成長がとても楽しみです。



演劇鑑賞教室

特活担当 岡井 謙太



本年度の演劇鑑賞教室は、“劇団風の子”による、「スクラム☆ガッシン」を鑑賞しました。

小学校4年生の仲間たちが、自分たちで劇を作りあげる中で生まれる葛藤や友情などの人間模様を描いた作品。

実際の学校現場でも見ることのある場面もあり、子どもたちにもとても身近に感じる作品でした。目と鼻の先で行われた、臨場感あふれる劇。子供たちは、様々な表情を見せながら劇をととても楽しんでいました。

今年の11月には、3年に一度の学芸会があります。今回の演劇鑑賞会で感じたものを生かして、素晴らしいものになりたいと思います。